

日本医療教授システム学会(JSISH)
2013年度第1回理事会議事録

開催日時:2013年3月7日(木)17:00~18:00

開催場所:学術総合センター 中会議室 3+4

出席者:池上敬一(代表理事)、木村昭夫、石松伸一(以上副代表理事)、浅香えみ子、大西弘高、
織井優貴子、鈴木克明、高橋優三、中西成元、中村丈洋(以上理事)、村上 聡(事務局)

欠席者:奥寺 敬、喜多敏博、軍神正隆、剣持 功、澤 智博、武田 聡、田中祐次、中島和江、三
上剛人(以上理事)、高橋誠治、長坂 浩(以上監事)

会則 11 条 2 項により、池上代表理事を議長として開会した。

1. 議事録署名人の選出

木村昭夫理事、石松伸一理事が選出された。

2. 審議事項

1)2012 年度事業報告

池上代表理事より以下の報告があり、承認された。

(1)会員異動報告(2012年1月1日~12月31日)

入会:101名

退会:19名

2012年12月31日付会員数:

個人会員A(医師) 187名

個人会員B(医師以外) 277名

学生会員 27名

合計:491名

(参考:2013年3月6日付会員数 個人会員A(医師) 195名、個人会員B(医師以外)
295名、学生会員 27名、合計:517名)

(2)第4回総会

2012年3月1日(木)~3日(土)

会場:学術総合センター、国立国際医療研究センター

会長:石松 伸一(聖路加国際病院救急部、救命救急センター)

参加者:209名

(3)『医療職の能力開発』

vol.1-1は発行済で、会員はオンラインジャーナル無料閲覧可能(会員番号、PWでログイン)。

本年度は次号発行のための編集作業を進めた。

(4)「患者急変対応コース for Nurses」(KIDUKI コース)

随時開催

(5)ISD&ARCSセミナー

日時:2012年8月11日(土)~12日(日)

場所:日本交通協会

(6)「教育・研修実践を論文にまとめる」セミナー

日時:2012年8月18日(土)

場所:東京慈恵会医科大学 西講堂

(7)ISD/教育・研修の実践を論文にする事例研究会

日時:2012年12月1日(土)、22日(土)

場所：東京慈恵会医科大学 西講堂

(8) JSISH-ITC の活動

NAEMT と AMLS/PHTLS の開催を契約。今後、東大グループへの組織的な普及事業へ発展の予定。

(9) 地方会について

中国・四国支部が発足。本会会則に準じて支部会則案を策定。

(10) 医学教育学会活動への関与

インストラクショナル・システムズ・デザインによる授業・実習改善ワークショップ(MEDC)の企画に協力・参加。

(11) その他

2) 2012 年度収支決算報告

池上代表理事および事務局より、2012 年度収支計算書および 2012 年 12 月 31 日現在の貸借対照表・財産目録につき説明があった。

続いて、高橋誠治監事、長坂 浩監事により会計監査が行われ、決算が適正であった旨の監査証明書が示され、決算案が承認された。

3) 2013 年度事業計画案

池上代表理事より提案があり、以下のように了承された。

(1) 第5回総会

日程：2013年3月7日(木)～9日(土)

会場：学術総合センター

会長：浅香 えみ子(獨協医科大学越谷病院救命救急センター)

(2) 2014 年第 6 回総会(総会時にお披露目するための基準作り、選出の作業開始)を目標とした 2013 年のプロジェクト運営について

a. 評議員 JSISH のガバナンスの基盤

b. ファカルティ 研究・実践・セミナー開催などで JSISH を引っ張ってくれる方

c. 資格認定制度

i. 例：助教の業績、大学へ提出できる

ii. 例：病院のインストラクター、学会認定(学会のオーソライズ)

iii. 具体的には、プロジェクトチームとして認定(3 年間)、教育・トレーニング管理者、シミュレーション教育者、ベッドサイド教育者、患者安全インストラクタートレーナー

iv. 資格認定の資料として使用するポートフォリオ開発

(3) 編集委員会

a. JJHPE の編集作業の特性について

b. 第 2 号の案内について

c. 副編集委員長 鈴木克明(熊本大学大学院教授システム学専攻・教授)

d. JJHPE の投稿規定の解釈変更

i. 原著論文(開発系・ロング)：新規性、信頼性、先行研究、研究>実践評価

ii. 実践論文(実践系・ロング)：実践のまとめ、仕組み・条件が明確、役に立ちそう、新規性なくてよい

iii. ショートノート(開発系・ショート)：教育の実践に貢献できる問題提起と意義がある

iv. 実践速報(実践系・ショート)：実践のまとめ(具体的な方法)、新規性、信頼性

e. 新しい編集方針

f. 委員再選出

(4) 教授システム開発委員

- a. ISD/Research 事例研究会を JSISH 事例研究会と改称し、来年度から毎月行う
(11 月は沖縄を予定したい)
 - b. JSISH ID セミナー開催
 - c. ポートフォリオ開発
 - d. シミュレーション医療教育指導者養成ワークショップのデザインと実施
 - e. プロジェクトチーム
 - i. RRT トレーニングパッケージ開発
 - ii. 看護師スタートアップ
 - iii. SimFD
- (5)教育・トレーニング委員会
- a. 東大 AMLS プロジェクト(軍神先生、研究対象)
 - b. JSISH-ICT として病院トレーニングサイトの構築
- (6)庶務
- a. 地方支部:位置づけとルール策定
- (7)その他

4)2013 年度予算案

池上代表理事および事務局より予算案について説明があり、承認された。

5)評議員会設置について

評議員制の導入および選任方法、役割等について討議を行った。

今後のプロセスとして、以下 2 点を確認した。

- (1)ワーキンググループ(メンバー:浅香、木村、石松、大西、鈴木、奥寺、武田の各理事)で制度の骨格を策定する。
- (2)2014 年の第 6 回総会時に第 1 回の評議員会を開催する(評議員選出は 2013 年 12 月を目処に行なう)。

6)第6回日本医療教授システム学会総会(2014 年)およびその後の事業計画について

池上代表理事より、以下の報告・提案があり了承された。

(1)第6回総会について

大会長 河野龍太郎先生(自治医大)

テーマ:「患者安全と教育システムの在り方」

(2)第7回総会について

大会長 鈴木克明先生(熊本大学)

テーマ未定

(3)第3回アジア・太平洋シミュレーション医学会(2015 年)

準備コミティーを組織する。

(4)その他

前回理事会で報告・了承されたように、今後、学会の収益事業(教材開発を含む)はラーニングシステムズ(株)を通じて行う。

以上